

(2) 将来像について

今回の議題について

新たな基本構想の構成

序章	基本構想策定の背景
	基本構想の役割
第1章	基本理念
第2章	将来像
第3章	基本目標（将来像を実現するためのまちの姿）
第4章	基本構想を実現するために
参考資料	

今回の議題について

新たな基本構想の構成

序章	基本構想策定の背景
	基本構想の役割
第1章	基本理念
第2章	将来像
第3章	基本目標（将来像を実現するためのまちの姿）
第4章	基本構想を実現するために
参考資料	

(2) 将来像について

●現在の基本構想（平成20年10月策定）

地域力が区民の暮らしを支え、
未来へ躍動する国際都市 おおた



社会環境が急速に変化し、価値観が多様化する時代を迎え、これからの大田区を支え、未来につなげていく源は、区民一人ひとりの力です。この力を「地域力」として発揮し、区との連携を進めることで、誰もが暮らしやすいまちをつくります。また、人・もの・技術を世界に送り出している大田区が、国際都市として都市と人々をつなぐ役割を積極的に担っていく姿を、大田区の将来像として掲げます。

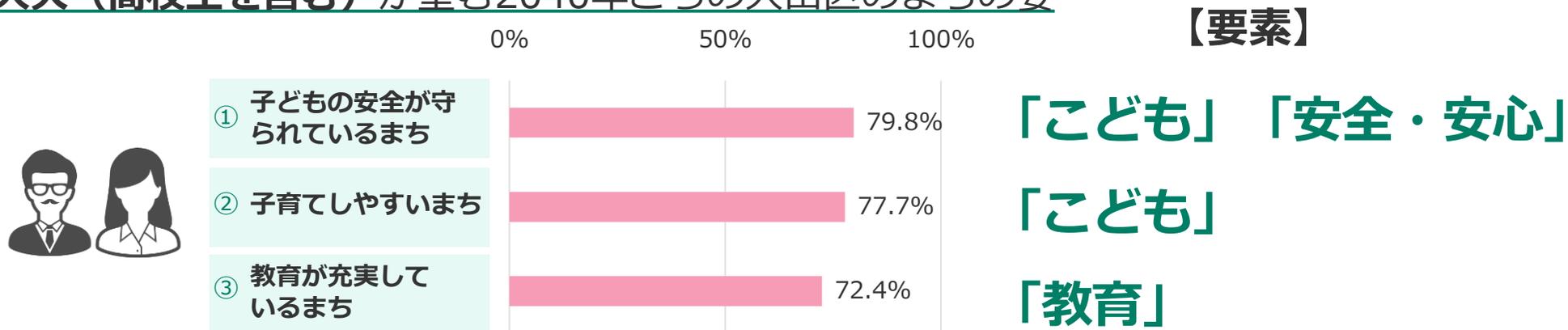
(2) 将来像について

● アンケート結果：望まれる2040年ごろのまちの姿 上位3項目

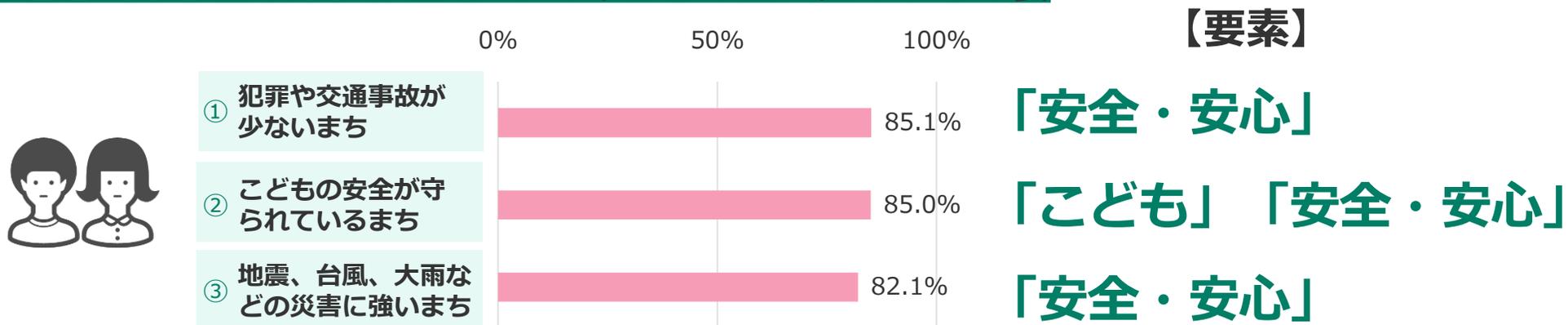
(30個のまちの姿から、未来にこんなまちになってほしいと思うまちの姿にあてはまるものを複数選択)

回答：17,406件（大人：5,486件、小・中学生：11,920件）

大人（高校生を含む）が望む2040年ごろの大田区のまちの姿



子ども（中学生以下）が望む2040年ごろの大田区のまちの姿



(2) 将来像について

● 将来像に関する第3回審議会でのご意見

意見

キーワードについては、前向きで明るいものでいいが、区民の共感という点からは、あまりにもバラ色な点のみを前面に押し出しすぎない方がよいのではないかと。区民の暮らしそのものなので、明るく輝くことを前面に押し出すことはやめた方がいい。

やや総花的で、現実離れしている印象を受ける。豊かさや安全安心など、現状認識されている課題が解決された姿を表すような表現を選択するのがよいのではないかと。

- 安全、安心や「心配せずに暮らせる」をどのように入れ込むか、引き続き検討が必要。
- 「はばたく」は大田区のイメージには合うが、他の言葉についても大田区の特徴が出ていて、将来的にどのようなまちになるのかイメージがわくキーワードがあるとよい。

他区の将来像を見たが、個性が出ていた。短い言葉にあらゆるものを含めることは無理なので、一点に絞るのがよいのではないかと。空港から飛行機が国内外に飛び立っていく姿と同じように、大田区で育った子どもたちが国内外に羽ばたいていくというのは悪くないと思う。「はばたく」はよいのではないかと。

「頑張る人を支えるまち」、「チャンスをつかめるまち」を作ろうとこれまで大田区は行動してきたため、将来像にもそのようなメッセージ性があってもよい。

現行の将来像は長く全文を覚えている人は少ないといえる。一方で現行の基本構想の将来像は「地域力」「国際都市」の意味として限定的にとらえることができ、分かりやすかった。

しかし、事務局が提案したキーワードは多義的にとらえられやすい表現。「笑顔」、「かがやく」、「はばたく」では、大田区が何を重視しているのか分からないのではないかと。

将来像の中に大田区の特徴として、「地域力」という単語が入っていたほうがよい。地域で子どもを育てていることや、大田区は広いがゆえに地域の各地域の特徴があり、その特色もやはり地域の魅力として地域力という表現ができる。「はばたく」という単語もよいが「地域力」をぜひ使ってほしい。

(2) 将来像について

● 審議会の意見や区民アンケートを踏まえた上で、必要となる将来像の要素・構成

○ 「安心や豊かさに関する言葉」 + 「はばたく」

- ① 安心を「やすらぎ」という言葉で表現し、豊かさを「笑顔」で表現した案
- ② 安心や豊かさを「笑顔」という言葉で表すとともに、様々なことにチャレンジできる要素を強調した案

○ 意味が限定的に解釈できる言葉で構成

- ③ 「こども」、「安心」という今回の構想における重要な言葉を直接的に使用しつつ、「はばたく」や「笑顔」という言葉を使用しない案

○ 地域力という言葉を使用

- ④ 「地域力」という言葉を使用しつつ、「はばたく」と組み合わせた案

(2) 将来像 (案)

○ 「安心や豊かさに関する言葉」 + 「はばたく」

- ① 安心を「やすらぎ」という言葉で表現し、
豊かさを「笑顔」で表現した案

心やすらぎ 未来へはばたく 笑顔のまち おおた

これまで築いてきた地域のつながりを大切にし、暮らす人・働く人・学ぶ人・訪れる人の誰もが、おだやかに日々を過ごすことができるまちをつくります。

また、こどもから大人まで、誰もが夢や希望をもち、未来を切り拓くことができる活力あるまちをつくります。

日々のやすらぎと未来への希望により、笑顔の輪が広がるまちの実現をめざし、「心やすらぎ 未来へはばたく 笑顔のまち おおた」を将来像として掲げます。

(2) 将来像 (案)

○ 「安心や豊かさに関する言葉」 + 「はばたく」

- ②安心や豊かさを「笑顔」という言葉で表すとともに、
様々なことにチャレンジできる要素を強調した案

あふれる笑顔 かがやく未来 はばたくおおた

これまで築いてきた地域のつながりを大切にし、暮らす人・働く人・学ぶ人・訪れる人の誰もが心から安心し、笑顔で過ごせるまちをつくります。

また、こどもから大人まで、誰もが未来に夢や希望をもち、様々なことにチャレンジしながら、活力ある毎日を送ることができるまちをつくります。

人々の笑顔と未来への希望を原動力とし、力強く躍進を続けるまちの実現をめざし、「あふれる笑顔 かがやく未来 はばたくおおた」を将来像として掲げます。

(2) 将来像 (案)

○意味が限定的に解釈できる言葉で構成

- ③「こども」、「安心」という今回の構想における重要な言葉を直接的に使用しつつ、「はばたく」や「笑顔」という言葉を使用しない案

こどもたちが未来へ希望を抱く 誰もが心から安心して暮らせるまち おおた

こどもたちが夢と希望をもって健やかに育ち、未来に向かって様々なことにチャレンジできるまちをつくります。

また、安全なだけでなく安心であり、誰もが毎日を心穏やかに過ごすことができるまちをつくります。

未来への希望と日々のやすらぎにより、誰もが前向きに心地よく暮らせるまちの実現をめざし、「こどもたちが未来へ希望を抱く 誰もが心から安心して暮らせるまち おおた」を将来像として掲げます。

(2) 将来像 (案)

○地域力という言葉を使用

④「地域力」という言葉を使用しつつ、「はばたく」と組み合わせた案

地域力でつなぐ 未来へはばたくまち おおた

予測困難な時代だからこそ、これまで培ってきた「地域力」を活かし、暮らす人・働く人・学ぶ人・訪れる人の誰もが互いにつながりあい、安心して過ごせるまちをつくります。

また、こどもから大人まで、誰もが夢や希望をもち、未来を切り拓くことができる活力あるまちをつくります。

地域力と未来への希望を原動力として、力強くはばたくまちの実現をめざし、「地域力でつなぐ 未来へはばたくまち おおた」を将来像として掲げます。

(2) 将来像 (案)

● 将来像 (案) の一覧

【案】

- ① 心やすらぎ 未来へはばたく 笑顔のまち おおた
- ② あふれる笑顔 かがやく未来 はばたくおおた
- ③ こどもたちが未来へ希望を抱く 誰もが心から安心して暮らせるまち おおた
- ④ 地域力でつなぐ 未来へはばたくまち おおた

(2) 将来像 (案)

● 「おおた」を「大田」と漢字で表記する場合

- 1947年に当時の「大森区」と「蒲田区」が一緒になって誕生したのが大田区であり、その際に両方の一字ずつを取って命名された。「おおた」を漢字表記することにより、大田区の歴史的な沿革を表現することができる。
- ②案では、「大田」と漢字表記にすることで、ひらがなと漢字が交互に現れるようになり、フレーズに規則性が生じる。

【案】

- ① 心やすらぎ 未来へはばたく 笑顔のまち 大田
- ② あふれる笑顔 かがやく未来 はばたく大田
- ③ こどもたちが未来へ希望を抱く 誰もが心から安心して暮らせるまち 大田
- ④ 地域力でつなぐ 未来へはばたくまち 大田

(2) 将来像 (案)

● 「大田区」という正式な表記をする場合

- 1947年に当時の「大森区」と「蒲田区」が一緒になって誕生したのが大田区であり、その際に両方の一字ずつを取って命名された。「おおた」を漢字表記することにより、大田区の歴史的な沿革を表現することができる。
- 他自治体（大田市）と明確に区別をすることができる。

【案】

- ① 心やすらぎ 未来へはばたく 笑顔のまち 大田区
- ② あふれる笑顔 かがやく未来 はばたく大田区
- ③ こどもたちが未来へ希望を抱く 誰もが心から安心して暮らせるまち 大田区
- ④ 地域力でつなぐ 未来へはばたくまち 大田区